

アルゴリズムとデータ構造 Markdown -> スライド サンプル

目次

- 概要
- インストール
- コード
- インラインコード
- 数式
- 表
- 画像の追加
- Mermaid
- まとめ



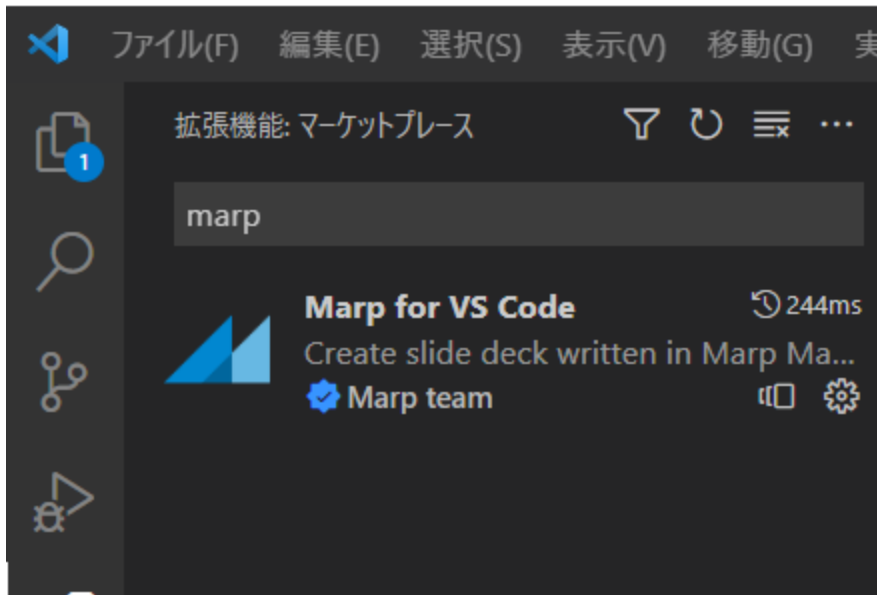
概要

- マークダウンからスライド作成
- VS Code + Marpを使用
- 参考 : [Qiita Marp\(Marpit\)](#)
- 参考 : https://qiita.com/tomo_makes/items/aafae4021986553ae1d8

インストール

Marp for VSCode

VSCodeの場合プラグインをインストールする



※ すでにマークダウン用のプラグインもインストールしてる前提

コード

ボリュウムのあるコードは厳しそう。10行程度が限界。

```
int main(){
    ll N;
    cin >> N;
    vector<ll> a(N);
    rep(i,N) cin >> a[i];
    ll ax = 0;
    rep(i,N) ax^=a[i];
    rep(i,N){
        ll ans = ax ^ a[i];
        cout << ans << " ";
    }
    cout << endl;
}
```

インラインコード

これは `code` です

数式

$$k_{\{n+1\}} = n^2 + k_n^2 - k_{\{n-1\}}$$

↓ こうなってほしかった

$$k_{[n+1]} = n^2 + k_n^2 - k_{[n-1]}$$

$$k_{n+1} = n^2 + k_n^2 - k_{n-1}$$

表

問題なく表示出来そう

TH 左寄せ	TH 中央寄せ	TH 右寄せ
TD	TD	TD
TD	TD	TD

画像の追加

右手に画像を追加する場合

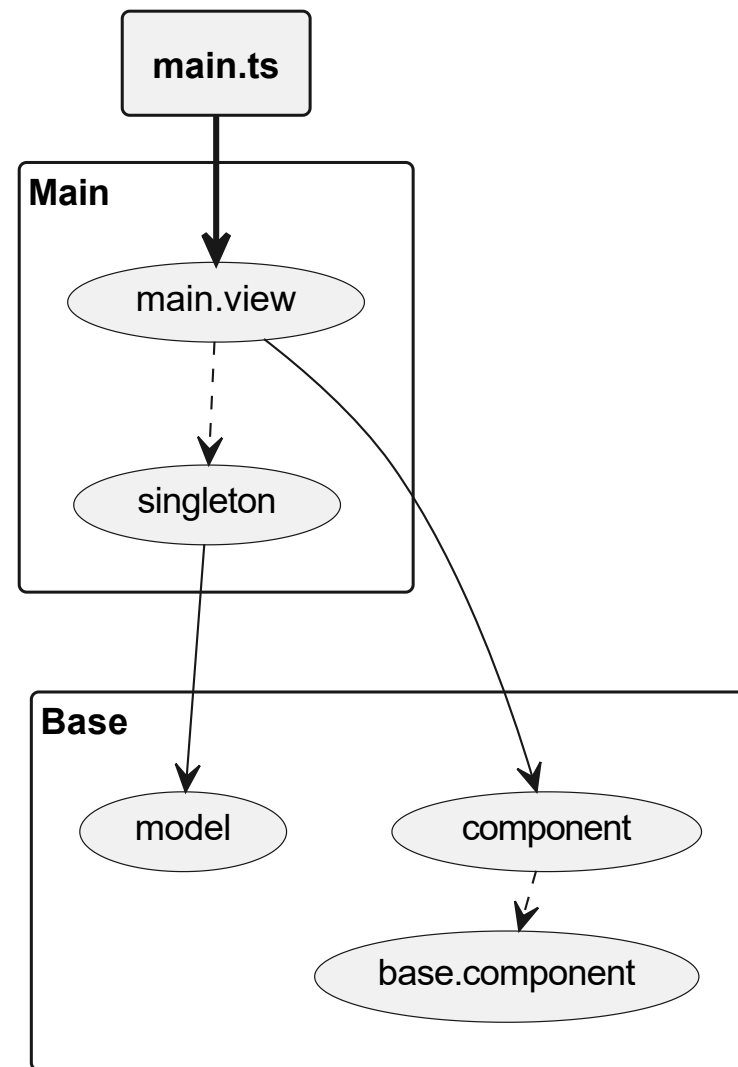


Mermaid

外部ツール ([Kroki.io](https://kroki.io), [Draw.io](https://draw.io), Vega) の図表を読み込んで表示する方法。

ここでは、mermaidで図を生成する外部WEBサービスの[Kroki](https://kroki.io)を使用する。

ローカル環境のVSCode上のmermaid用のプラグインで作成した図を使用する方法もあるかもしれない。



まとめ

- マークダウンに慣れてる人は作りやすい。
- 1スライド1メッセージ型のスライドに向いている。
- 長いコードや複雑な数式には不向き。
- とにかく慣れ 😊